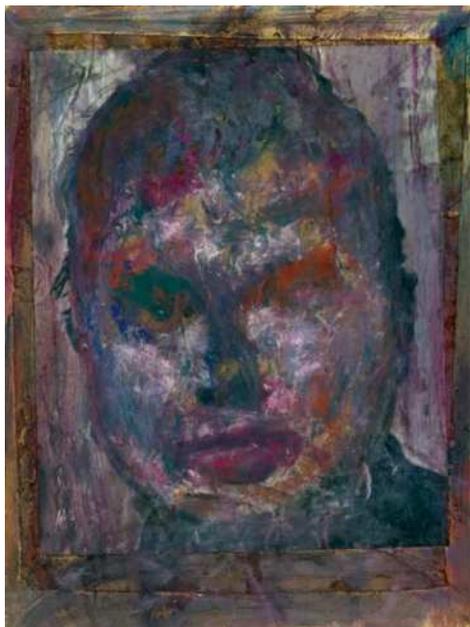


フランシス・ベーコン バリー・ジュール・コレクションによる

FRANCIS BACON

The Barry Joule Collection of artworks from Francis Bacon studio, 7 Reece Mews London SW7 U.K.

2021年1月9日(土) – 4月11日(日)



A

フランシス・ベーコン(1909–1992)はイギリスを拠点に活動し、唯一無比の具象画を確立してピカソと並び称される、20世紀を代表する画家です。アイルランドのダブリンに生まれ、独学で絵画を学んだのちに、ベラスケスやファン・ゴッホを参照しながら歪んだ身体や咆哮するかのような表情の人物画を描き、独特の三幅対シリーズなどで同時代の美術界に多大な影響を与えました。生前はもちろん死後も多くの展覧会が企画され、世界各地の美術館に作品が収蔵されています。

ベーコンが生前けて世に出すことのなかった「秘密」——作らないとされていた素描、参照していたおびただしい印刷物と、そこに描かれた線や図像、そして、そのほとんどを破棄したと言われていた、シュルレアリスムに傾倒した若き日の絵画たち。本展では、死の直前までこの巨匠がひそかに手元に残した初期絵画作品や素描、資料など約130点を日本で初公開します。生前には明らかにされなかったそのインスピレーション源を紐解き、孤高の画家の真の姿に迫ります。

展覧会の見どころ

1. フランシス・ベーコンの貴重な初期作品を展示

初期のベーコン作品の多くは破棄されてしまったと考えられていました。本展では、この画家が20代のはじめにキュビズムやシュルレアリスムの影響を受けて描いた油彩画10点を展示します。

2. フランシス・ベーコンの制作過程を解き明かす作品を日本初公開

ベーコンは、「人」に絶えず関心を持ち続けました。雑誌や新聞上に掲載された著名人の肖像写真に色をつけたり、線を描いたりした作品など、完成された油彩画への展開を知ることができる貴重な資料を日本で初公開します。

◇バリー・ジュール・コレクションについて

バリー・ジュール氏は、1978年のベーコンとの出会いから画家が亡くなるまで親しく交流し、ベーコンがマドリッドで客死する10日前に、彼が手元に残していた作品や資料など約2,000点を直接作家のロンドンのアトリエから譲り受けました。これらの貴重な「遺産」は、アイルランド国立近代美術館(ダブリン、2000年)やバービカン・センター(ロンドン、2001年)、ピカソ美術館(パリ、2005年)、中国の南京芸術学院美術館(南京、2013–2014年)そして昊美術館(温州、2016年)、イタリアのヴィラ・フィオレンティーノ(ソレント、2018年)などで展示され、2004年にはテート・ギャラリーにそのうちの約1,200点が寄贈されています。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当: 鈴木、吉田、深尾 展覧会担当: 高嶋、三本松

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

開催概要

フランシス・ベーコン バリー・ジュール・コレクションによる

Francis Bacon: The Barry Joule Collection of artworks from Francis Bacon studio, 7 Reece Mews London SW7 U.K.

会 期：2021年1月9日(土)–4月11日(日)

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室2-4

開館時間：午前9時30分–午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日(1月11日は開館)

主 催：神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協 賛：ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

特別協力：バリー・ジュール・コレクション

企画協力：西村画廊

観 覧 料：一般1,200円/20歳未満・学生1,050円/65歳以上600円/高校生100円

*中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

*「フランシス・ベーコン」展の観覧券で、同日に限りコレクション展「イギリス・アイルランドの美術 — 描かれた物語」をご覧ください。

*ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日:2月7日、3月7日、4月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご利用いただけます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同日の会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」は中止いたします。

*その他の割引につきましてはお問い合わせください。

*ご来館に際しての新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願いと最新情報は、美術館ウェブサイトをご覧ください。

【同時開催】コレクション展「イギリス・アイルランドの美術 — 描かれた物語」

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願ひ

- 以下の場合、ご来館をお控えください: 発熱や体調不良がある/過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触、入国制限や入国後の観察期間が必要な国・地域への訪問歴または当該在住者との濃厚接触がある
- 入館時の手指消毒、マスク着用(着用が推奨されない乳幼児や障害者へはご配慮をお願いします)
- 混雑状況により、入場制限を行う場合があります
- 今後の状況により、記載内容を変更する場合があります。最新情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください

広報用画像データ一覧

展覧会広報用として、画像データをご用意しております。ご希望の場合は、下記のメールアドレス宛にお申し込みください。

その際、次の必要事項の明記をお願いいたします。

展覧会名/希望画像のアルファベット/社(団体)名/媒体名/掲載予定日/担当者名/連絡先

画像キャプション

A フランシス・ベーコン 《自画像の写真上のドローイング》1970年代–1980年代頃 ©The Barry Joule Collection

B フランシス・ベーコン 《自画像》1930年代頃 ©The Barry Joule Collection

C フランシス・ベーコン 《Xアルバム5表–ファン・ゴッホ・シリーズ》1950年代後半–1960年代前半
©The Barry Joule Collection

D フランシス・ベーコン 《Xアルバム5裏–叫ぶ教皇》1950年代後半–1960年代前半 ©The Barry Joule Collection

E フランシス・ベーコン 《『戦艦ポチョムキン』中の乳母の写真上のドローイング》1970年代–1980年代頃
©The Barry Joule Collection

F フランシス・ベーコン 《2人のボクサーの写真上のドローイング》1970年代–1980年代頃 ©The Barry Joule Collection

G フランシス・ベーコン 《自転車選手の写真上のドローイング》1970年代–1980年代頃 ©The Barry Joule Collection

H フランシス・ベーコン 《ヒヒの写真上のドローイング》1970年代–1980年代頃 ©The Barry Joule Collection

I フランシス・ベーコン 《エドワード・マイブリッジの連続写真上のドローイング》1970年代–1980年代頃
©The Barry Joule Collection

J リチャード・ハミルトンのスタジオでのフランシス・ベーコン(右)とバリー・ジュール(左) 1986年
©The Barry Joule Collection

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当: 鈴木、吉田、深尾 展覧会担当: 高嶋、三本松

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

B



C



D



E



F



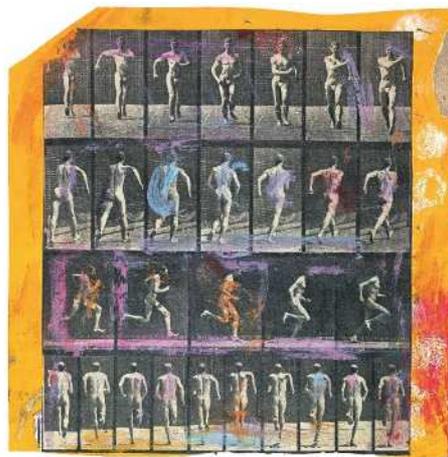
G



H



I



J



【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当: 鈴木、吉田、深尾 展覧会担当: 高嶋、三本松

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>